

安定生産可能、きれいで大きな果実 イチゴ新品種『華かがり』



1 育成の背景

- 県内イチゴ生産面積の46%が「美濃娘」、36%が「濃姫」（令和元年産）
- 「濃姫」：近年の気象変動の影響により、出荷量の変動、果実品質低下が頻発
- 「美濃娘」：栽培管理の労力、暖房費などのランニングコストが「濃姫」より必要

→出荷期間を通して安定出荷でき、高品質、多収な品種が必要

→省力化が可能でかつ栽培コストを抑制できる品種が必要

2 育成経過

平成19年 交配 「美濃娘」× 大果系統「9-2-3」

平成20年 選抜開始（系統名「19-2-1」）

平成24年 現地適応性試験開始

平成26年 育成完了（品種登録出願）

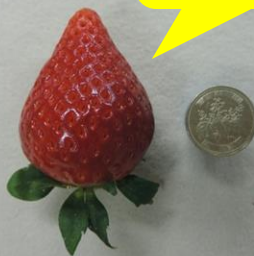
平成29年 品種登録（10月24日）



3 特徴

- 収穫期は「濃姫」、「美濃娘」と同じ**早生**品種
- **連続出蓄性**に優れ、**安定出荷**が可能
- **大果**で**多収**、**秀品率も高い**
- 省力化が図れ、栽培コストを抑えることができる

きれいで
大きい



4 普及見込みと導入効果

- 多収で秀品率が高いことから、生産者の収量、所得を向上できる
- 栽培期間を通して、需要に応える安定出荷が可能となる
- 「きれいで大きい」果実で他品種と差別化することにより、岐阜いちごの販売力が向上する

岐阜いちご品種「華かがり」の育成

真っ赤に咲いた
大輪の「華」のように、
水面を華やかに照らす
長良川鵜飼の
「かがり」火のように、
清流の恵みを詰め込んだ
イチゴができました。



美濃娘

(岐阜県育成品種)

9-2-3

(岐阜県育成中間母本)

(平成19年交配)

華かがり

平成29年10月
品種登録！



「華かがり」って、
どんな品種？

- ・ 果実が大きく、形が良い。
- ・ 果肉は白く、
空洞はほとんど無い。
- ・ 果汁が多くてジューシー。
(服汚れ注意！)
- ・ 酸度が低く、甘い！

「華かがり」って、どこで食べられるの？

- ・ 現在は、限られた面積での栽培としています。
- ・ 「きれいで大きい」で差別化を図りながら
中京圏を中心に、関東圏でも販売しています。

岐阜県農業技術センター